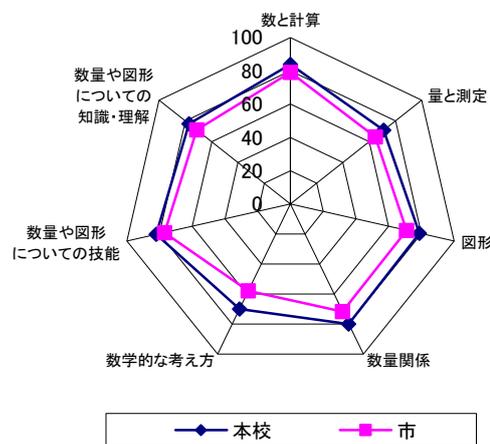


宇都宮市立陽南小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	83.8	79.0	78.9
	量と測定	71.0	64.6	66.2
	図形	78.8	70.9	77.8
	数量関係	79.8	71.6	66.6
観点別	数学的な考え方	69.9	57.8	54.8
	数量や図形についての技能	82.0	76.9	75.2
	数量や図形についての知識・理解	77.3	71.3	75.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>○ 正答率は83.8%で、宇都宮市の平均正答率を4.8ポイント上回っている。特に分数の乗除法や小数の除法で正答率が93%を超えており、計算技能が十分に身に付いてきている。</p> <p>● 図を使って分数の除法の文章問題に合った式を選ぶ問題で、市平均は3.7ポイント上回っているものの正答率が59.8%と低かった。</p>	<p>○ 良好な状況が見られるもの ● 課題が見られるもの</p> <p>今後の指導の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、習熟度別学習や個別指導を充実させ、さらに計算力を伸ばしていく。 文章題の意図を読み取り、簡単な図や数直線に表し式を考える練習に取り組んでいく。
量と測定	<p>○ 正答率は71.0%で、宇都宮市の平均正答率を6.4ポイント上回っている。特にいろいろな四角形の面積や角柱の体積を求める問題で宇都宮市の平均を大きく上回っている。</p> <p>○ 単位量当たりの大きさを使った考え方を説明する問題では、正答率は52.9%で低かったが、宇都宮市平均は20ポイント以上上回った。</p> <p>● 円の直径から面積を求める問題では、正答率72.5%で宇都宮市平均を5ポイント以上上回った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 朝の学習や授業の関係ある内容の時などに、面積や体積を求める公式や単位量当たりの大きさなどを繰り返し復習し、さらに理解を深めていく。円の円周や面積と直径、半径の関係などが混乱している児童が見られるので、繰り返し再確認し、理解を確かなものにしていく。
図形	<p>○ 正答率は78.8%で、宇都宮市の平均正答率を7.9ポイント上回っている。特に、五角形の内角の和を求めたり円の円周を求めたりする問題では宇都宮市の平均正答率を10ポイント以上上回り、合同な三角形をかく問題では正答率が98%とほとんどの児童が正解することができた。</p> <p>● 円の円周を求める問題は、正答率は63.7%で、低かった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 円の直径や半径を用いて円周や円の面積を求める問題に繰り返し取り組み、理解を確かなものにしていく。 具体物を利用したり、操作活動を取り入れたったりした授業を意図的に展開する。
数量関係	<p>○ 正答率は79.8%で、宇都宮市の平均正答率を8.2ポイント上回っている。特に、文字を使って2つの数量関係を式に表したり、文字式で一方の値からもう一方の値を求めたり、円グラフから割合を読み取ったり比較量を求めたりする問題で、宇都宮市の平均正答率を大きく上回った。</p> <p>● 比を使って昔の写真から当時の身長を求める問題では、市の平均正答率を14ポイント以上上回っているものの、正答率は60.8%と低かった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文字式や比例・反比例、割合などの理解はかなり深まっているので、引き続き、繰り返し復習をし、さらに理解を深めていく。 既習内容を生かし、身の回りの問題を解決していくような発展的な問題にも取り組む機会を多く設け、思考力・表現力をさらに伸ばしていく。